



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 井村屋グループ株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 2209 URL <https://www.imuraya-group.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 安樹
 問合せ先責任者 (役職名) ファイナンス室長 (氏名) 石原 幸尚 (TEL) 050-1791-2014
 定時株主総会開催予定日 2026年6月19日 配当支払開始予定日 2026年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月16日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	53,723	5.1	3,200	6.5	3,533	11.5	2,389	8.7
2025年3月期	51,121	6.0	3,005	18.5	3,169	9.1	2,198	13.9

(注) 包括利益 2026年3月期 3,369百万円 (50.8%) 2025年3月期 2,234百万円 (△16.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	186.71	—	10.1	8.8	6.0
2025年3月期	168.31	—	10.2	8.5	5.9

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	43,326	25,031	57.7	1,956.05
2025年3月期	36,677	22,123	60.3	1,728.61

(参考) 自己資本 2026年3月期 25,031百万円 2025年3月期 22,121百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	3,841	△5,209	1,135	1,311
2025年3月期	6,068	△1,833	△4,083	1,516

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00	460	21.4	2.2
2026年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00	486	20.4	2.1
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	38.00	38.00		20.3	

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	2.9	1,600	△18.9	1,700	△16.7	1,100	△24.3	85.96
通期	56,000	4.2	3,300	3.1	3,400	△3.8	2,400	0.4	187.54

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社 (社名) 井村屋フードサービス株式会社、除外 1社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	13,086,200株	2025年3月期	13,086,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期	289,126株	2025年3月期	288,919株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	12,797,165株	2025年3月期	13,061,615株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	6,638	6.7	2,204	22.4	2,526	33.9	2,248	29.6
2025年3月期	6,223	2.8	1,801	△16.3	1,887	△23.8	1,734	△20.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	175.68		—					
2025年3月期	132.79		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
2026年3月期	27,369	80.4	22,015	86.9			1,720.32	
2025年3月期	22,337	86.9	19,419				1,517.51	

(参考) 自己資本 2026年3月期 22,015百万円 2025年3月期 19,419百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社の売上高は、連結子会社からの経営管理料、配当金及び輸出版売等により構成されております。当期につきましては、連結子会社からの配当金が増加したことに伴い、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益において前期実績値と差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用・所得環境の改善が続く等、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、エネルギー価格や原材料価格の高騰が続く中、物価上昇による消費者の節約志向の高まりや中東情勢の緊迫化などがあり、依然として先行き不透明な市場環境が続いております。

このような状況下で、2025年度は当社グループの中期経営計画「Value Innovation 2026（新価値創造）」の2年目を迎え、目標達成に向け今期の活動指針を「不易流行」とし、企業価値アップと収益構造の強化にグループ全体で取り組みました。

また、2025年6月20日付「連結子会社の会社分割（新設分割）による子会社設立に関するお知らせ」に記載のとおり、フードサービス事業の成長戦略を推進するため、2025年10月1日に井村屋フードサービス株式会社を設立しました。

当社グループの売上高については、流通事業における冷菓カテゴリー、菓子カテゴリー、食品カテゴリーを中心に売上が増加しました。

損益面では、原材料価格の高騰や物流費などのコストが上昇する中、一部商品の価格改定を実施するとともに、生産性の向上を図り、営業利益が増加しました。

以上の結果、連結売上高は537億23百万円（前期比5.1%増）となりました。営業利益は32億円（前期比6.5%増）、経常利益は35億33百万円（同11.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は23億89百万円（同8.7%増）となり、売上高及び各利益ともに過去最高の業績となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

① 流通事業

流通事業（BtoC事業）の中心となる井村屋株式会社では、菓子、食品、デイリーチルド、冷菓カテゴリーで売上が増加しました。また、下期に17年ぶりとなる「肉まん・あんまん」シリーズのTVCMを放映し、販売促進を強化した結果、冷凍・チルドの「パックまん」シリーズの売上が伸長しました。BtoB事業の井村屋フーズ株式会社では、スパウチ商品の受注が増加しました。

以上の結果、流通事業の売上高は488億81百万円（前期比5.2%増）となり、セグメント利益は44億17百万円（同4.8%増）となりました。

流通事業におけるカテゴリー別の概況につきましては以下のとおりです。

（菓子カテゴリー）

独自の「ギュッと押すだけパッケージ」を採用した「片手で食べられる小さなようかん」シリーズが好評をいただき、売上が伸長しました。冷凍和菓子では、「井村屋謹製 たい焼き（つぶあん）」と新商品「井村屋謹製 たい焼き（白つぶあん）」はともに売上が伸長しました。

以上の結果、菓子カテゴリーの売上高は97億15百万円（前期比7.6%増）となりました。

（食品カテゴリー）

冬物商品の「ぜんざい」や「おしるこ」と冷凍食品の「ゴールドまん」シリーズの売上が伸長しました。井村屋フーズ株式会社の食品加工事業では、スパウチ商品の受託加工が伸長しました。

以上の結果、食品カテゴリーの売上高は90億75百万円（前期比6.3%増）となりました。

（デイリーチルドカテゴリー）

「豆腐類」では、「大豆屋和蔵 大豆ッ子」の売上が順調に推移しました。「チルドパックまん」の売上也伸長しました。

以上の結果、デイリーチルドカテゴリーの売上高は24億39百万円（前期比8.0%増）となりました。

(冷菓カテゴリー)

主力商品の「あずきバー」シリーズが好調に推移し、過去最高の売上本数3億35百万本を記録しました。また、期間限定販売の新商品「やわもちアイス ずんだもち味」も好評を得ました。アメリカのIMURAYA USA, INC.では、現地生産商品の「MOCHI ice cream」の売上が伸長しました。マレーシアのIMURAYA MALAYSIA SDN. BHD.もマレーシア国内市場拡大に取り組みました。

以上の結果、冷菓カテゴリーの売上高は178億97百万円（前期比6.7%増）となりました。

(点心・デリカカテゴリー)

「肉まん・あんまん」などの点心・デリカカテゴリーは、冬場の気温が高かったこともあり、売上は前年並みとなりました。

以上の結果、点心・デリカカテゴリーの売上高は91億62百万円（前期比1.5%減）となりました。

(スイーツカテゴリー)

スイーツカテゴリーでは、「La maison JOUVAUD（ラ・メゾン・ジュヴォー）」の売上は広尾店、虎ノ門ヒルズ店、JR京都伊勢丹店で前年同期を上回りました。また、2026年2月に「アンナミラーズ 南青山店」と、三重県津市に「imuraya sweets marché Russelia（イムラヤ スイーツ マルシェ ラッセリア）」をオープンし、多くの方から反響及び好評をいただきました。

以上の結果、スイーツカテゴリーの売上高は4億75百万円（前期比8.8%増）となりました。

(VISON（ヴィゾン）カテゴリー)

VISON（ヴィゾン）カテゴリーでは、日本酒の製造・販売を行う「福和蔵」と和菓子を販売する「菓子舗井村屋」の2店舗を三重県多気町の大型商業リゾート施設VISON内で運営しております。VISONへの来場者数の減少とともに来店者数が少ない平日のイートイン営業を縮小した事により、売上は減少しました。

以上の結果、VISON（ヴィゾン）カテゴリーの売上高は1億16百万円（前期比11.4%減）となりました。

② 調味料事業

井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業では引き続き機能性素材を用いたOEM商品の販売が伸長し、中国事業会社においても中国国内の売上が伸長しました。

以上の結果、調味料事業の売上高は46億5百万円（前期比4.3%増）となり、セグメント利益は6億62百万円（同4.3%増）となりました。

③ その他事業

イムラ株式会社では、SDGsの取り組みの一環として井村屋商品のアウトレット販売を行っている「MOTTAINAI 屋」が引き続き地域のお客様に好評いただき、売上は増加しました。

以上の結果、井村屋グループ株式会社の賃貸事業を加えた、その他事業の売上高は2億36百万円（前期比1.4%増）となり、セグメント利益は71百万円（同15.6%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は433億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億48百万円の増加となりました。流動資産は、販売増加に伴う棚卸資産の増加などにより、6億84百万円増の136億57百万円となりました。固定資産は、新工場建設に伴う有形固定資産の増加などにより、59億63百万円増の296億68百万円となりました。

負債は182億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億40百万円の増加となりました。流動負債は、設備投資に伴う短期借入金の増加などにより、28億51百万円増の148億51百万円となりました。固定負債は、長期リース債務や繰延税金負債の増加などにより、8億88百万円増の34億42百万円となりました。

純資産は利益剰余金の増加などにより、29億8百万円増の250億31百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、13億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動による資金の増加は38億41百万円（前連結会計年度は69億70百万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益を計上したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動による資金の減少は52億9百万円（前連結会計年度は18億33百万円の減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動による資金の増加は11億35百万円（前連結会計年度は40億83百万円の減少）となりました。これは、主に借入による資金調達を行ったことによるものです。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率（%）	59.0	54.7	55.1	60.3	57.7
時価ベースの自己資本比率（%）	100.5	85.3	86.8	83.8	71.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（%）	71.0	162.6	183.1	32.1	112.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	116.6	115.6	52.1	111.8	48.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業キャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

（注4）有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の経済動向につきましては、政府の経済政策や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復が期待される一方、中東情勢の悪化などの地政学リスクの高まりによる原材料価格の高騰など、先行き不透明な状況が予想されます。

このような状況のもと当社グループは、SDGsのゴールでもある2030年を見据えた成長戦略の実行と経営基盤の強化を図るため策定した中期経営計画「Value Innovation 2026（新価値創造）」の最終年度にあたり、パーパスである「おいしい！の笑顔をつくる」のために、顧客志向と特色ある価値創造を追求し、社会から共感される企業を目指してまいります。

流通事業（BtoC事業）の中心となる井村屋株式会社においては、今後も成長が期待される冷凍事業について過去最高の売上本数を記録した「あずきバー」シリーズの販売を更に強化するため、生産能力を高めるとともに付加価値の高い商品開発機能を備えた新工場を本社敷地内に建設し、6月に竣工を予定しております。

井村屋フーズ株式会社におきましては、環境負荷低減を目的にバイオマスボイラーの導入を計画しております。

海外事業におきましては、アメリカのIMURAYA USA, INC.では、和の素材を活かした現地生産のアイスクリーム商品の販売活動を強化してまいります。中国事業におきましては、井村屋（北京）食品有限公司（IBF）は焼菓子のEU向け輸出に注力し、また日本からの輸入商品の販路拡大を目指します。調味料事業を展開する北京京日井村屋食品有限公司（JIF）及び井村屋（大連）食品有限公司（IDF）においては、中国国内の業務用ルートでの売上増加を図るとともに、台湾やEUをはじめとした海外市場での販路開拓に取り組みます。マレーシアのIMURAYA MALAYSIA SDN. BHD.では、マレーシア国内市場の販路拡大を進め、ASEAN市場への輸出拡大を目指します。

コスト対策として、生産効率を高める設備投資を引き続き行い、生産性向上に向けたイノベーションに取り組みます。

以上の状況を踏まえ、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高560億円、営業利益33億円、経常利益34億円、親会社株主に帰属する当期純利益24億円を想定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,516,238	1,311,088
売掛金	6,303,740	6,298,141
商品及び製品	3,544,047	3,869,870
仕掛品	359,027	395,951
原材料及び貯蔵品	841,893	918,656
その他	409,377	865,205
貸倒引当金	△1,281	△1,297
流動資産合計	12,973,043	13,657,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,728,792	21,771,499
減価償却累計額	△12,355,149	△13,048,409
建物及び構築物(純額)	8,373,642	8,723,089
機械装置及び運搬具	20,948,233	22,186,760
減価償却累計額	△16,123,828	△16,854,389
機械装置及び運搬具(純額)	4,824,405	5,332,371
土地	4,369,858	5,711,668
リース資産	1,250,745	1,890,823
減価償却累計額	△413,189	△554,093
リース資産(純額)	837,556	1,336,730
建設仮勘定	752,292	2,353,027
その他	1,098,440	1,171,520
減価償却累計額	△942,796	△986,662
その他(純額)	155,643	184,858
有形固定資産合計	19,313,399	23,641,746
無形固定資産		
リース資産	86,361	97,861
その他	18,229	25,401
無形固定資産合計	104,591	123,262
投資その他の資産		
投資有価証券	2,435,806	3,593,102
長期貸付金	1,252	1,252
繰延税金資産	163,383	98,934
退職給付に係る資産	1,456,657	1,953,299
その他	230,124	257,545
貸倒引当金	△626	△626
投資その他の資産合計	4,286,599	5,903,508
固定資産合計	23,704,590	29,668,518
資産合計	36,677,633	43,326,135

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,564,536	3,953,461
電子記録債務	1,678,865	1,268,641
短期借入金	900,000	2,700,000
リース債務	180,767	235,270
未払金	3,738,176	4,613,906
未払法人税等	504,951	743,356
賞与引当金	691,096	732,000
役員賞与引当金	60,000	70,000
その他	681,310	534,850
流動負債合計	11,999,704	14,851,488
固定負債		
リース債務	868,489	1,397,736
繰延税金負債	408,695	861,996
執行役員退職慰労引当金	79,638	59,274
資産除去債務	144,383	66,038
再評価に係る繰延税金負債	939,405	939,405
その他	114,034	118,437
固定負債合計	2,554,647	3,442,888
負債合計	14,554,351	18,294,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,576,539	2,576,539
資本剰余金	3,810,519	3,810,519
利益剰余金	13,198,515	15,127,193
自己株式	△716,743	△717,258
株主資本合計	18,868,831	20,796,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	878,735	1,686,896
土地再評価差額金	1,903,231	1,903,231
為替換算調整勘定	△11,497	△92,755
退職給付に係る調整累計額	482,215	737,393
その他の包括利益累計額合計	3,252,684	4,234,765
非支配株主持分	1,766	-
純資産合計	22,123,281	25,031,758
負債純資産合計	36,677,633	43,326,135

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	51,121,689	53,723,528
売上原価	33,325,649	35,118,587
売上総利益	17,796,039	18,604,940
販売費及び一般管理費	14,790,335	15,404,154
営業利益	3,005,704	3,200,786
営業外収益		
受取配当金	69,322	93,355
受取家賃	33,126	39,780
為替差益	-	171,578
その他	137,560	117,492
営業外収益合計	240,009	422,206
営業外費用		
支払利息	55,655	79,597
為替差損	17,909	-
その他	2,263	9,740
営業外費用合計	75,828	89,337
経常利益	3,169,885	3,533,655
特別利益		
補助金収入	53,255	41,078
保険金収入	6,477	143,020
受取補償金	61,218	20,492
投資有価証券売却益	-	90,115
その他	-	427
特別利益合計	120,951	295,133
特別損失		
減損損失	121,011	60,375
固定資産除却損	712	40,503
棚卸資産処分損	42,302	196,949
その他	1,368	-
特別損失合計	165,394	297,827
税金等調整前当期純利益	3,125,442	3,530,961
法人税、住民税及び事業税	891,634	1,118,099
法人税等調整額	52,737	24,717
法人税等合計	944,371	1,142,816
当期純利益	2,181,070	2,388,144
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△17,371	△1,235
親会社株主に帰属する当期純利益	2,198,442	2,389,380

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	2,181,070	2,388,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	137,320	808,160
土地再評価差額金	△27,188	-
為替換算調整勘定	55,920	△81,788
退職給付に係る調整額	△112,317	255,178
その他の包括利益合計	53,734	981,549
包括利益	2,234,804	3,369,694
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,253,624	3,371,461
非支配株主に係る包括利益	△18,819	△1,766

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,576,539	3,810,519	11,405,673	△5,104	17,787,628
当期変動額					
剰余金の配当			△405,600		△405,600
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,198,442		2,198,442
自己株式の取得				△711,638	△711,638
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,792,841	△711,638	1,081,202
当期末残高	2,576,539	3,810,519	13,198,515	△716,743	18,868,831

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券評価差 額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累 計額	その他の包括利益累計 額合計
当期首残高	741,415	1,930,419	△68,865	594,532	3,197,501
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する 当期純利益					
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	137,320	△27,188	57,368	△112,317	55,182
当期変動額合計	137,320	△27,188	57,368	△112,317	55,182
当期末残高	878,735	1,903,231	△11,497	482,215	3,252,684

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	20,586	21,005,716
当期変動額		
剰余金の配当		△405,600
親会社株主に帰属する 当期純利益		2,198,442
自己株式の取得		△711,638
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△18,819	36,362
当期変動額合計	△18,819	1,117,565
当期末残高	1,766	22,123,281

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,576,539	3,810,519	13,198,515	△716,743	18,868,831
当期変動額					
剰余金の配当			△460,702		△460,702
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,389,380		2,389,380
自己株式の取得				△515	△515
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,928,678	△515	1,928,162
当期末残高	2,576,539	3,810,519	15,127,193	△717,258	20,796,993

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券評価差 額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累 計額	その他の包括利益累計 額合計
当期首残高	878,735	1,903,231	△11,497	482,215	3,252,684
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する 当期純利益					
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	808,160	-	△81,257	255,178	982,080
当期変動額合計	808,160	-	△81,257	255,178	982,080
当期末残高	1,686,896	1,903,231	△92,755	737,393	4,234,765

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	1,766	22,123,281
当期変動額		
剰余金の配当		△460,702
親会社株主に帰属する 当期純利益		2,389,380
自己株式の取得		△515
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,766	980,314
当期変動額合計	△1,766	2,908,477
当期末残高	-	25,031,758

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,125,442	3,530,961
減価償却費	2,240,226	2,137,772
減損損失	121,011	60,375
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△169	16
受取利息及び受取配当金	△77,681	△99,820
支払利息	55,655	79,597
為替差損益(△は益)	△19,724	△100,343
固定資産除売却損益(△は益)	712	40,076
保険金収入	-	△143,020
補助金収入	△53,255	△41,078
受取補償金	△61,218	△20,492
投資有価証券売却損益(△は増加)	-	△90,115
売上債権の増減額(△は増加)	1,789,316	13,907
棚卸資産の増減額(△は増加)	△453,518	△605,344
棚卸資産処分損	42,302	196,949
仕入債務の増減額(△は減少)	258,793	△74,424
未払金の増減額(△は減少)	△119,081	252,254
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	72,573	△204,143
賞与引当金の増減額(△は減少)	38,544	40,904
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10,000	10,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△138,801	△13,030
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△52,336	17,529
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,046	△20,364
その他	181,071	△426,396
小計	6,970,908	4,541,769
利息及び配当金の受取額	77,681	99,820
利息の支払額	△54,270	△79,927
受取補償金の受取額	61,218	20,492
保険金の受取額	-	143,020
補助金の受取額	4,392	4,392
法人税等の支払額	△991,326	△888,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,068,603	3,841,434
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,828,588	△5,347,831
有形固定資産の売却による収入	-	500
無形固定資産の取得による支出	△1,781	△9,628
補助金の受取額	-	70,102
投資有価証券の取得による支出	△5,048	△5,351
投資有価証券の売却による収入	-	124,466
その他の支出	-	△42,206
その他の収入	1,845	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,833,573	△5,209,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,800,000	1,800,000
リース債務の返済による支出	△166,794	△204,191
自己株式の取得による支出	△711,638	△515
配当金の支払額	△405,245	△459,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,083,678	1,135,903
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,170	27,459
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	189,523	△205,150
現金及び現金同等物の期首残高	1,326,715	1,516,238
現金及び現金同等物の期末残高	1,516,238	1,311,088

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「流通事業」、「調味料事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「流通事業」では菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷菓、スイーツ及び日本酒の製造及び販売を、「調味料事業」では天然調味料、栄養食品、発酵調味料、液体調味料の製造及び販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告される事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	流通事業	調味料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	46,473,535	4,414,541	50,888,076	233,612	51,121,689
セグメント間の内部売上高又は振替高	81,037	241,842	322,880	16,543	339,423
計	46,554,573	4,656,384	51,210,957	250,155	51,461,113
セグメント利益	4,214,632	635,657	4,850,289	61,468	4,911,758
セグメント資産	26,540,755	3,740,791	30,281,546	1,915,261	32,196,807
その他項目					
減価償却費	1,939,443	228,814	2,168,257	36,327	2,204,584
減損損失	121,011	—	121,011	—	121,011
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,107,099	31,356	2,138,455	—	2,138,455

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸・管理業及びリース代理業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	流通事業	調味料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	48,881,433	4,605,293	53,486,727	236,801	53,723,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	76,437	262,159	338,596	18,932	357,529
計	48,957,870	4,867,452	53,825,323	255,733	54,081,057
セグメント利益	4,417,371	662,863	5,080,234	71,076	5,151,310
セグメント資産	32,178,883	3,716,088	35,894,971	1,915,202	37,810,173
その他項目					
減価償却費	1,856,358	205,845	2,062,203	39,541	2,101,745
減損損失	60,375	—	60,375	—	60,375
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	6,516,069	130,363	6,646,433	—	6,646,433

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸・管理業及びリース代理業等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	51,210,957	53,825,323
「その他」の区分の売上高	250,155	255,733
セグメント間取引消去	△339,423	△357,529
連結財務諸表の売上高	51,121,689	53,723,528

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,850,289	5,080,234
「その他」の区分の利益	61,468	71,076
配賦不能全社損益(注)	△1,906,053	△1,950,523
連結財務諸表の営業利益	3,005,704	3,200,786

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社の一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	30,281,546	35,894,971
「その他」の区分の資産	1,915,261	1,915,202
配賦不能全社資産(注)	4,480,825	5,515,961
連結財務諸表の資産合計	36,677,633	43,326,135

(注) 配賦不能全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の現金及び預金、投資有価証券であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	2,168,257	2,062,203	36,327	39,541	35,641	36,026	2,240,226	2,137,772
減損損失	121,011	60,375	—	—	—	—	121,011	60,375
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	2,138,455	6,646,433	—	—	49,381	24,515	2,187,837	6,670,949

(注) 調整額は、主に報告セグメントに帰属しない当社の減価償却費及び設備投資額であります。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	1,728円61銭	1,956円05銭
(算定上の基礎)		
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	22,123,281	25,031,758
普通株式に係る純資産額(千円)	22,121,515	25,031,758
差額の主な内訳(千円)		
非支配株主持分	1,766	—
普通株式の発行済株式数(千株)	13,086	13,086
普通株式の自己株式数(千株)	288	289
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(千株)	12,797	12,797

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益	168円31銭	186円71銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,198,442	2,389,380
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	2,198,442	2,389,380
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,061	12,797

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。